

砂と暮らし

ITP
だより

砂に学ぶ

15

「アレppoの水事情と私の研究」

たりの使用可能量の減少)に対して、都市下水を利用した研究の意義は非常に大きくなっています。

都市下水は汚い水ですが、窒素やリンを豊富に含むことから肥料代を節約でき、また1年中利用できるという利点もあります。その一方で、多くの発

処理も不十分であるため、重金属による汚染や、生産者・消費者への健康被害の危険性が懸念されています。

日本では、公害問題に端を発して、重金属に関する研究が多く行われてきました。それらの見地が今、大きく役立つています。

展途上国では工場排水を含み、

(鳥取大学大学院農学研究科学生・佐藤敏雄)
(水曜日に掲載)

シリア第二の都市アレppoが位置するシリア北部は、半乾燥地域です。年降水量は約300mmと、日本の6分の1以下です。

ここでは水資源は少なく、貴重です。また人口の急増により、農業と他産業との間で水の奪い合いが生じています。そこで、これまでは見向きもされなかった都市下水が、他産業と競合することのない貴重な農薬用水として、注目されています。このようなことから、世界的な水危機(1人当



生活排水で育った小麦。シリアの国際乾燥地農業研究センター(右が著者)